

# スポーツで強い絆

静岡県知事 川勝平太 × 駐日英国大使 ポール・マデン氏 対談

静岡県は2019年ラグビー・ワールドカップ(W杯)日本大会の開催地の一つであり、20年東京五輪・パラリンピックでは自転車競技3種目の会場に選ばれた。川勝平太知事は富士山を頂く“ふじのくに”を「スポーツと文化の聖地」に掲げ、開催に向けた取り組みを進めている。ラグビーW杯や五輪は国や地域に何をもちたらすのか。開催地はこうした世界的イベントにどう向き合うべきか。川勝知事が、12年ロンドン五輪と15年ラグビーW杯イングランド大会を成功させた英国のポール・マデン駐日大使と東京都の英国大使館で語り合った。(2018年11月3日付 毎日新聞掲載記事より転載)

## ロンドン・東京五輪

——まず大使にとつての静岡、知事にとつての英国についてそれぞれお話しいただけますか。

**マデン氏** 日本への初めての赴任(経済・貿易政策部1等書記官として勤務)は1988年、92年で、1年目は鎌倉山の語学

学校で学びました。そこからは相模湾越しに富士山を眺めることができました。私が最初に目にした静岡の光景です。

当時、(徳川家康の外交顧問で静岡県伊東市の松川河口で日本初の洋式帆船を建造した英国人の)ウィリアム・アダムス(日本名三浦按針)にちなんだ「按針祭」に参加しました。

ウィリアム・アダムスきながら16〜17世紀の衣装を着て伊東市内を練り歩き、夜は名物の花火を楽しみました。

また、約150年前に富士山に外国人として初めて登ったのは初代英国公使、ラザフォード・オールコック。私の先輩です。  
**知事** 日英には共通点があります。英国はユーラシア大陸の

西端、日本は東縁に位置し、ともに海に開かれた島国です。英国は世界初の産業国家となり、近代の世界秩序を創出し、日本はアジア初の産業国家となつて、アジア台頭の口火を切りました。

また、日本の皇室は英国の王室・文化に敬意を払っています。(1921年の)昭和天皇

## “ 人類の平和づくりに貢献 ”

静岡県知事

川勝平太



## “ 多様性の視点もたらした ”

駐日英国大使 ポール・マデン氏

が皇太子時代の欧州訪問で、最初の公式訪問先は英国。皇太子さまはオックスフォード

大学に留学し、テムズ川の水運を研究されましたが、その動機を尋ねられて「テムズの水は日本に通ず」という名言を残されました。

輪・パラリンピック開催に英国が成功した理由は何でしょう。

**マデン氏** 五輪の成功要因の一つは多くのメダルを獲得し、国が盛り上がったこと。国営宝くじの収益を使った選手育成・支援などが功を奏しました。もう一つは、五輪をロンドンだけでなく、国全体で共有できるようにしたこと。聖火リレーを英

国全土で行ったり、金メダルを獲得した選手の地元で郵便ポストを金色に塗り替えたりしました。

ところで私は、ロンドン五輪最大のインパクトは、人々にダイバーシティ(多様性)の視点をもたらしたことだと感じています。メダルを獲得した英国人選手たちは、世界各地にルーツ

を持っていました。パラリンピックはテレビで大々的に放映され、普段は障害者が身近ではない人々も競技を見て大きな刺激を受けました。五輪は英国を多文化社会として結集させたイベントだったのです。

——ロンドン五輪では大会をきっかけに文化・芸術の振

2012年ロンドン五





静岡県知事 川勝 平太

1948年生まれ。京都市出身。早稲田大学、同大学院を経て英オックスフォード大学で博士号取得。早大教授、国際日本文化研究センター教授、静岡文化芸術大学学長などを経て2009年より現職。現在3期目。

興を図る文化プログラムも多く実施されました。

**知事** 英国では五輪の年より翌年の外国人観光客数が上回りました。ロンドンを含むイングランド、スコットランド、ウェールズなど英国全土で文化プログラム「カルチュラル・オリンピック」を展開し、各地で訪英客を魅了しました。東京五輪も全国を舞台に各地独自の文化プログラムで訪日客をもてなすのがよいでしょう。  
**マデン氏** 五輪のような世界的な大会は世界中のメディアが注目します。  
ロンドン五輪の開会式では

ラグビーW杯

——知事は国際交流の視点ではどのような効果を期待していますか。

**知事** 15年のラグビーW杯で日本の主将はリーチ・マイケル選手。ニュージールランド出身ですが、その統率力をだれもが称賛しました。日本も英国のような多文化社会に変わりつつあります。特にスポーツの分野は世界に開かれており、ラグビーW杯と五輪は多文化共生社会の出発点にできます。  
ラグビーW杯の1会場である小笠山総合運動公園エコパ

スタジアム（袋井市）での最初の試合は、日本対アイルランド。世界中のラグビーファンを歓迎します。東京五輪ではトラック、ロードレース、マウンテンバイクの自転車競技3種目が県下で開催されます。「富士山のあるところで走りたい」という世界のサイクリストたちの願いに応えた形です。

**マデン氏** ラグビーW杯は日本各地の12都市で開かれますね。英国の各チームからの多くのファンが日本を訪れることでしょう。スコットランドとアイルランドは静岡県で試合が予定されています。

英国の旅行者はとても意欲的に各地の会場から会場へ移動するときにさまざまな地方を探索し、あらゆるものを見ようとするはず。また、五輪で静岡県が会場となる自転車競技は英国が最も得意とするスポーツの一つ。特にロードサイ

クルはレースと共に地域の美しい景観がテレビ中継されま

す。静岡県にとってはきっと、素晴らしい無料広告となることでしょう。

——知事は、ふじのくにに静岡がスポーツ・文化の聖地となることを目指していると同

じです。  
**知事** 静岡県は東京と京都の中央に位置し、新幹線、高速道路、港、空港など交通網が発達し、食材数日本一の「食の都」です。ホンダ、スズキ、ヤマハ、河合楽器など世界的企業がこの地で創業しました。国内総生産（GDP）レベルではニュージーランドとほぼ同じ。富士山、南アルプス、伊豆半島、駿河湾、浜名湖など世界クラスの美しい景観で「海と山の風景の画廊」といわれ、健康と幸福を感じさせる土地柄です。  
これからはグローバルな観点で地域を位置づける時代です。

日本の各地方は独自の価値と潜在力があり、誇りも高い。各地、各人が富士山のように唯一無二のかけがえのない存在です。

「One for all, all for one（一人は万人のため、万人は一人のため）」の精神で、すべての人が中心であり、かつ、人類全体の平和づくりに何か貢献するのに、スポーツ・文化ほどふさわしい分野はありません。  
世界中が注目する祭典を通して、国籍・宗教・人種などの壁を越えて、誰もが努力すれば夢のかなう地域づくりを目指しています。

**マデン氏** 英国の詩人ジョン・ダンの有名な詩に「何人（なんびと）も孤立した島ではない」という一節があります。英国も日本も自分たちを「島国」だと思いがちですが、より広い世界に属していることを忘れてはいけません。

人は五輪で自分の国のチームを応援しつつ、同時に持てる力を発揮しようという情熱を燃やすすべての国籍の選手に驚嘆するはず。世界中の誰しもの走りは誇り。彼がどの国の選手かには関わらず、それが人類としての成果だからです。



駐日英国大使 ポール・マデン氏

1959年生まれ。英南西部デボン出身。ケンブリッジ大学卒業。ロンドン大学アジア・アフリカ研究学院で日本語を学ぶ。駐シンガポール高等弁務官、アジア大洋州特別局長などを経て2017年1月から現職。